

令和6年度に「奈良県学校・地域パートナーシップ事業」で重点的に取り組む課題に応じた目標等の報告

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値
②学校と地域の課題	青少年の健全育成	社会経験が乏しく、生活習慣や学習習慣に課題があり、規範意識や学力の低下にもつながっている	「子どもの夢応援プロジェクト」を立ち上げ、地域人材や企業人材を活用し、児童・生徒が夢をもって自らの将来を拓く力を育てる取組を実施している。また、放課後等の学習活動も積極的にを行い、基礎学力の定着を図っている。	地域の方とのふれあい体験、あいさつと見守り活動、児童生徒のアイデアを活かした委員会活動等で規範意識の向上や規則正しい生活習慣の定着を目指すとともに、様々な体験活動を通して、児童・生徒の自尊感情を高める。	地域人材を効果的に活用し、様々な体験活動や交流活動の機会を増やし、自信をもって自らの夢を語ることのできる児童・生徒を育てていく。	全国学力・学習状況調査「未来の夢や目標をもっていきますか」という問いに対して、「持っている」「どちらかといえば持っている」と答えた小・中学生の割合	70	%	80
③学校と家庭の課題	読書習慣の定着・読書体験の充実	学校や家庭で進んで読書をする児童・生徒が少ない。文章を的確に読み取る力や自分の考えを文章や言葉で相手にわかりやすく伝える力が弱い。	図書ボランティアの協力を得て、定期的に絵本の読み聞かせや、図書紹介などの機会を設定している。また、子どもたちが足を運びたくするような魅力的な図書館の環境整備にも力を入れている。	学力の基礎となる読解力を高めるため、図書ボランティアや読み聞かせボランティアと連携し、読書習慣の定着を目指す。また、保護者にも呼びかけ、家庭での「親子読書タイム」等を実施していく。	地域コーディネーターや活動支援員等と連携し、読み聞かせ活動や図書環境整備活動をさらに充実させ、本好きの児童・生徒を育てる。	全国学力・学習状況調査「読書は好きですか」という問いに対して、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた小・中学生の割合	63	%	70